

No.5
2019
7/18



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索

その2

八地申第2号(2018年9月13日申し入れ)

「乗務員室防犯カメラ設置に関する申し入れ」交渉

7月10日に開催した申2号交渉では、冒頭に施策の進め方に関する認識の一致を図り(FAXニュースNo.5 参照)項目の議論を行いました。8月1日へ延期した本使用についても議論を行い、乗務員室の防犯カメラは乗務に集中できないことから、撤去を求めてきましたが対立で終了しています。

乗務員室防犯カメラは監視されているようで、乗務に集中できず危険である！



(組合)乗務員室に防犯カメラを設置した目的と根拠、運用や仕様について明らかにすること。

(会社)・目的は列車妨害が多発した、安心して業務ができるために設置、車内カメラはトラブルやテロ行為等を未然に防ぐ抑止力。支社内全路線が対象で2020年3月を目指し順次設置する。

・カメラは画像のみで随時上書きをされている。他の場所でリアルタイムには見ることはできない。

・防犯カメラ以外の防犯対策は、新型ラッチ導入、警察の警乗の増、新幹線・NEX 警備員巡回増、駅でのガードマン増配置。



車両センターでは業務量の増加になり、要員を増配置すること！

(組合)車両に設置する際の車両センターでの業務について明らかにすること。

(会社)・乗務員室防犯カメラは委託工事。車内カメラはJR本体で設置。1両に8台設置する。設置時間は、LEDタイプはLED管の交換時間と同等だが、E233系の蛍光灯タイプは1本に20分~30分程設置に時間を要す。

・メンテナンスは確認用タブレットを機能保全1編成につき2台配備して、録画状況を確認する。1両で15分ほど時間を要す。

(組合)機能保全10両で75分の時間を要し、現行でも超過勤務が発生していることから要員を増配置すること。

(会社)トライアルを行ったところ、作業時間内に収まると判断しており、現在は増配置を行わない。三鷹車両センターの機能保全では、修繕記事により超過勤務が増加している認識はあるが、カメラの確認作業とは別であると認識している。本使用開始後も支社として状況の把握に努める。

乗務に集中できないことから撤去を求める！

(組合)乗務員から「乗務に集中できない」という声は聞いているのか。

(会社)「集中できない」という声も聞いているが、「安心できる」という声もある。

(組合)組合員は説明もされずに「常時監視されている」と不安であり、乗務に集中できずに危険であることから乗務員室防犯カメラを撤去すること。

(会社)乗務の特殊性は認識しているが、防犯カメラは安心して働けるように設置している。乗務員室は重要な機器が設置されており、列車妨害も多発したことから取り付けることを判断した。



防犯カメラにて、防犯目的以外の乗務員の監視などを行わないことを確認！

(組合)防犯カメラの画像を用いて、防犯目的以外での乗務員の乗務状態の把握などを行わないこと。また、これをもって処罰の対象としないこと。

(会社)乗務員の監視が目的ではない。防犯カメラ規定に則り、警察からの依頼や、事故になりお客様の身体に影響を及ぼすことがあれば警察への提供や確認をすることはある。

全組合員で職場から業務に集中できる体制を創り出そう！